Ⅲ 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成 30 年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、平成 30 年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・如修塾改修工事	366,283 千円
・3号館西側斜面对策工事	67,161 千円
・4・5・10・11号館エレベータ更新・整備	60,228 千円
・人事・給与システム更新	23,621 千円
・液晶プロジェクター更新（11号館3階 K1131 他計 10 台）	19,710 千円
・10号館設備更新	6,046 千円
・学生会館放送設備設置	5,616 千円
・施設設備予約システム導入	5,400 千円
・1号館地階改修工事	4,395 千円
・北門門扉取替工事	3,921 千円
・キャンパスバリアフリー化（北門～4号館石畳通路整備）	3,672 千円
・基礎教育センター1号館移設	3,491 千円

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では、学生生徒等納付金収入補助金収入、付随事業・収益事業収入が見込額を下回りましたが、手数料収入、寄付金収入、受取利息・配当金収入、雑収入が見込額を上回った他、予算外で資産売却収入を計上したことなどにより、総収入は5,467百万円と予算を393百万円上回りました。

また、支出面では、経常経費に加え、如修塾改修等の支払いや各種引当資金への積増し等を行いました。予算執行の見直しや経費節減に努めた結果、翌年度繰越支払資金は予算を700百万円上回る1,307百万円となり、前受金収入418百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 事業活動収支計算書（総括表）

事業活動収支については、収入面では資金収入に現物寄付を加算計上し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算し、さらに基本金組入額を控除した結果、当年度収支差額は235百万円の支出超過となり、前年度からの繰越収入超過額729百万円が減少し、翌年度への繰越収入超過額は494百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において西宮グラウンドの売却や減価償却の進捗がある一方で、第2号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では135百万円増加し、26,004百万円となる一方、負債総額は45百万円増加し、1,471百万円となり、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ90百万円増の24,533百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過年度の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・ 資金収支の状況
 - ・ 活動区分資金収支の状況
 - ・ 事業活動収支の状況
 - ・ 貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録